

東京国立近代美術館工芸館 展覧会プレスリリース
イメージコレクター・杉浦非水展
2018年12月4日

イメージコレクター・杉浦非水展

Sugiura Hisui: Image Collector

前期：2019年2月9日 [土] - 4月7日 [日]

後期：2019年4月10日 [水] - 5月26日 [日]

場所：東京国立近代美術館 本館2階 ギャラリー4

MMAT

日本有数の杉浦非水コレクション

当館が所蔵する杉浦非水の作品は、すべてご遺族からの寄贈による国内有数のパブリックコレクション。本展では前後期の2部制で大幅な展示替を行い、非水作品の大部分を約20年ぶりに一堂に展示します。

非水旧蔵資料を初公開

非水の手元で大切に保管されてきた雑誌や、手製のスクラップブックからは、デザイナーのイメージ収集から創作にいたるプロセスを垣間見ることができるでしょう。

非水の資料収集や小型映画について トークイベントを開催

非水旧蔵フィルムを初めてデジタル化

ご遺族から国立映画アーカイブに寄贈された非水旧蔵の16ミリフィルムを本展のために初めてデジタル化しました。非水自身が撮影した昭和初期の風景は、非水の興味の対象や交友関係を知るうえで貴重なだけでなく、非水の創作における「記録すること」の意味を伝えています。

杉浦非水（1876-1965）は、日本のグラフィックデザインの創成期に重要な役割を果たした図案家の一人として知られています。当館では非水のご遺族から1997年に一括寄贈されたポスター、絵はがき、原画など700以上にのぼる作品を所蔵しています。本展では非水の代表作である三越のためのポスターをはじめ、数多く手がけた雑誌の表紙デザインや装丁の仕事、身近な動植物を描いたスケッチなどを展示し、19年ぶりに当館の非水コレクションを一堂にご紹介します。さらに今回は、非水が手元に残した海外の雑誌やスクラップブック、非水が撮影した16mmフィルムの映像など、貴重な旧蔵資料も初公開します。非水が何に関心を持ち、何を集めていたのか、図案の創作にいたるまでのプロセスと「イメージの収集家」という側面に焦点をあて、非水の多彩な活動を改めて検証します。

杉浦非水 略歴

1876年	愛媛県松山市に生まれる。本名は朝武（つとむ）。
1886年	杉浦家の養子となる。
1897年	5月、上京。 9月、東京美術学校（現・東京藝術大学）日本画選科に入学。
1901年	3月、東京美術学校卒業。 5月、黒田清輝がフランスから帰国、持ち帰った資料を見る。 このとき目にしたアール・ヌーヴォーの資料は非水が図案家になる契機となった。
1902年	4月、黒田の推薦で大阪の三和印刷所図案部主任となる。
1904年	大阪商船株式会社を辞して上京。 岩崎翠子〔本名・翠（1885-1960）、歌人〕と結婚。
1908年	2月、三越呉服店夜間勤務嘱託となる。
1910年	1月、三越呉服店図案部が意匠部から独立し、同部主任となる。
1912年	6月、中澤弘光、山本森之助らと光風会を創立。
1922年	研究および見学のためヨーロッパに留学。
1925年	創作図案研究団体「七人社」創立。
1927年	7月、ポスター研究雑誌『アフィッシュ』創刊。
1929年	10月、帝国美術学校教授工芸科図案科長に就任。
1935年	帝国美術学校を辞任。 多摩帝国美術学校（現・多摩美術大学）創設に参加し、同校校長および図案科主任教授を兼任。
1965年	8月18日死去。



参考図版 杉浦非水（三越呉服店図案部に在る）1914年



図版No.1
杉浦非水 《三越呉服店 春の新柄陳列会》1914年

本展では非水の活動を大きく4つに分類し、それらの有機的なつながりを展示によってご紹介します。

①収集する：縦横無尽のイメージコレクター

初公開！

本展ではこれまで図書資料として保管してきた非水の旧蔵資料を初めて展示します。フランスの挿絵入り新聞『L' Illustration（イリュストラシオン）』やアメリカのグラフ雑誌『LIFE（ライフ）』、ヨーロッパで発行されたレイアウトやタイポグラフィに関する豊富な図版をおさめた美術書や雑誌、非水手製の細かく分類された膨大なスクラップは、非水の着眼点や興味の対象を知るための手がかりを与えてくれます。



図版No.2 杉浦非水によるスクラップブック

②記録する：写真家の眼

非水は身のまわりのものごとを記録する方法として、動植物を数多くスケッチしましたが、同時に写真愛好家でもありました。肉眼でとらえきれない瞬間的なポーズを記録するための写真の利便性を自覚していた非水は、膨大な写真アルバムやフィルムを残しています。

初公開！

本展のために新たにデジタル化した国立映画アーカイブ所蔵の16mmフィルムには、非水が創立に関わった光風会の展覧会風景や、親交のあった洋画家・藤田嗣治夫妻とのピクニックの様子、上野動物園の白熊などが映し出されています。



参考図版 杉浦非水撮影による白熊（国立映画アーカイブ所蔵フィルムより）



図版No.5
杉浦非水 《日立電気冷蔵庫》
1933年

③出力する：イメージコレクターからイメージメーカーへ

とりわけ三越呉服店のための広告デザインにおいて、非水は百貨店としての新たなブランドイメージを創り出す「イメージメーカー」として欠かせない存在であり、「三越の非水か、非水の三越か」と言われるほどでした。非水の図案に見出せる共通点、あるいは図案と非水が収集した資料の共通点から、企業や商品のイメージを決定づけるすぐれた図案がどのように生み出され続けたのか、そのプロセスをうかがうことができます。



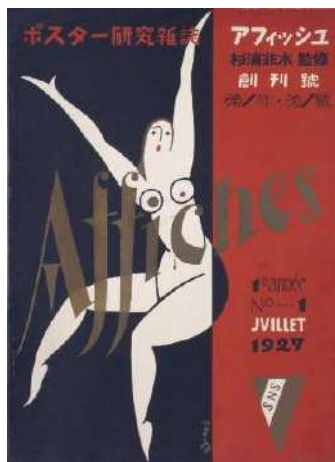
図版No.3
杉浦非水 《銀座三越 四月十日開店》 1930年



図版No.6
杉浦非水 《カルピス》 1926年

④伝える：図案の教育者

非水は自身で図案を創作するだけでなく、工芸研究家の渡辺素舟（1890-1986）とともに、『図案の美学』や『実用図案資料大成』など一般向けにも図案に関する書物を発行し、また多摩帝国美術学校で教鞭を執るなど、図案教育の重要性を認識し、その普及にも大きな功績を残しました。



図版No.4 杉浦非水
『アフィッシュ』創刊号表紙 1927年



図版No.7
杉浦非水 《ヤマザ醤油》 1920年代

■東京国立近代美術館工芸館について ※本展の会場は本館ギャラリー4です。

工芸館は、日本で最初の国立美術館である東京国立近代美術館の分館として、建築家・谷口吉郎が改修を手がけ、昭和52(1977)年に開館しました。総数約3,800点（平成30年3月31日現在）を収蔵し、近現代の工芸およびデザイン作品を全般にわたって幅広く収集をおこなっています。工芸館の赤レンガの建物は、明治43(1910)年に建てられた旧近衛師団司令部庁舎を保存活用したもので、現在、重要文化財に指定されています。2020年、石川県金沢市へ移転予定。



開催概要

展覧会名(和)	イメージコレクター・杉浦非水展
展覧会名(英)	Sugiura Hisui: Image Collector
会期	前期：2019年2月9日 [土] - 4月7日 [日] 後期：2019年4月10日 [水] - 5月26日 [日]
会場	東京国立近代美術館本館 2階 ギャラリー4 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1
主催	東京国立近代美術館
共催	毎日新聞社
特別協力	愛媛県美術館
開館時間	午前10時～午後5時（金曜・土曜は午後8時まで） ※入館は閉館30分前まで
休館日	月曜日（2月11日、3月25日、4月1日、4月29日、5月6日は開館）、2月12日 [火]、 4月9日 [火]（※本展のみ）、5月7日 [火]
アクセス	東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口より徒歩3分 東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下駅」4番出口、 半蔵門線・都営新宿線・三田線「神保町駅」1A出口より各徒歩15分
観覧料	一般500円（400円） 大学生250円（200円） 高校生以下および18歳未満、65歳以上、「MOMATパスポート」をお持ちの方、友の会、賛助会員（同伴者1名まで）、MOMAT支援サークルパートナー企業（同伴者1名まで、シルバー会員は本人のみ）、キャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方とその付添者（1名）は無料。所蔵作品展の観覧料でご覧いただけます。 *（ ）内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込。 *割引・無料には入館の際、学生証・運転免許証など年齢のわかるもの、会員証、社員証、障害者手帳をご提示ください。 無料観覧日：2019年2月24日（日）、3月3日（日）、4月7日（日）、5月5日（日）、5月18日（土）（国際博物館の日） ※2月24日（日）は天皇陛下下御在位30年を記念して入館無料です。
イベント	●ギャラリートーク 詳細は後日HPにて公開予定。

報道関係の方の
お問合せ先

東京国立近代美術館工芸館 （展示会場とは異なります）

展覧会担当／中尾、野見山 広報担当／島田

Tel：03-3211-7781（工芸課直通） E-mail：koge-pr@momat.go.jp

掲載用お問合せ先

Tel：03-5777-8600（ハローダイヤル）

公式HP

http://www.momat.go.jp

広報用図版 請求票

FAX: 03-3211-7783(工芸課) 広報担当 行

発信日 年 月 日

<input checked="" type="checkbox"/>	No.	作品
	1	杉浦非水 《三越呉服店 春の新柄陳列会》 1914年
	2	杉浦非水によるスクラップブック
	3	杉浦非水 《銀座三越 四月十日開店》 1930年
	4	杉浦非水 『アフィッシュ』 創刊号表紙 1927年
	5	杉浦非水 《日立電気冷蔵庫》 1933年
	6	杉浦非水 《カルピス》 1926年
	7	杉浦非水 《ヤマサ醤油》 1920年代

※上記作品はすべて、東京国立近代美術館蔵

- ・ご希望の図版の左枠内に✓を入れてFAXまたはメールでお送りください。
- ・図版はJPEGデータをご用意しています。使用する場合は、指定されたクレジットを併記してください。
- ・図版は原則、全図でご使用ください。トリミング、部分使用、文字のせは無断で行わないでください。
- ・展覧会広報のみにご使用ください。他の目的でのご使用は固くお断りいたします。
- ・掲載見本を広報担当者へご寄贈ください。(Webサイトの場合は掲載時にお知らせ下さい)

御芳名

貴社名

出版物・放送番組・webサイト名など(発行日等):

URL <http://www.>

TEL

FAX

E-MAIL

* 展覧会をご紹介いただける場合は、読者プレゼント用招待券をご用意しております。

プレゼント用招待券を 希望する(5組 10枚) / 希望しない

招待券送付先: 〒

報道関係のお問合せ先

東京国立近代美術館工芸館 広報担当/島田

TEL: 03-3211-7781(工芸課直通) FAX: 03-3211-7783

E-mail: koge-pr@momat.go.jp 公式HP: <http://www.momat.go.jp>